

平成 30 年度事業計画

総 括

平成 30 年度の重点項目を以下の通りとする。

1. ダンス人口高齢化・減少を防止する施策
 - (1) 他ジャンルダンスとの連携による若年層ダンス人口の拡大
 - (2) 日常の生活文化としての非競技系ダンス普及施策の実施
 - (3) スポーツ医科学研究に基づく健康寿命を延ばすダンス習慣の研究と普及
 - (4) ダンススポーツの普及プロモーションとマスメディアへの露出強化

2. ダンススポーツの大々の普及を目指す活動
 - (1) ユースオリンピック(10月ブエノスアイレス)へのブレイクダンス選手の派遣
選手強化により金メダルを目指す
 - (2) ユースオリンピック最終予選となる世界ユースブレイキン選手権の開催(川崎)
 - (3) 国民体育大会参加を目指す活動

3. 競技会の活性化
 - (1) 三笠宮杯ダンススポーツ選手権、ダンススポーツグランプリ競技会等主要イベントの更なる魅力作り
 - (2) 全日本ダンススポーツ統一級競技会の推進
 - (3) PD ブロック委員会の活性化と PD を中心とした競技会、複合型イベントの開催

4. 選手強化
 - (1) ジュニア・ユースからの一貫強化
 - (2) 海外派遣、国内・国外合宿、強化練習会等の実施
 - (3) 世界レベルの選手輩出と高度な指導者育成を目標とした新たな助成事業の導入

5. 構造改革
PD 部門やブレイクダンス部門を含め、時代の変化に対応した受け皿組織の拡充、新たな事業モデルの検討及び合理的な事務処理等について検討し整備する。

6. その他重点施策
 - (1) WDSF 教本日本語翻訳版・ダンススポーツ教本及び DVD をもとにした、全国的な講師養成と、加盟団体及び認定ダンス教室を中心とした最新のダンス技術の普及
 - (2) 柔軟な会員・資格管理のシステム、Web による競技会エントリーシステム等、IT 利用による利便性の向上と事務・運営機能の強化
 - (3) その他、定型的業務としての普及事業、指導員育成、資格管理業務、技術認定業務、国際業務、競技会関連業務、ジュニア育成業務、マーケティング業務、アンチ・ドーピング業務等の着実な実施と円滑な組織運営

各本部・委員会

普及本部

普及本部では、各部門において以下に示す視点で諸施策を推進する。

- 1) PD部門の発足に伴う整合性のある仕組みや制度の検討
- 2) ダンス関連産業と連携、協力した社交ダンス(非競技)の普及施策
- 3) 最新のダンススポーツ技術の普及(ダンススポーツ教本&DVD)
- 4) 健康長寿に極めて有効とされる社交ダンスの普及・検証
- 5) ダンサーの身体能力の把握とその向上策(強化選手、準強化選手等)
- 6) ダンサーの怪我予防とパフォーマンス向上
- 7) 視線計測カメラを用いた、競技ダンスにおける審査員の行動分析
- 8) AIとIoTの融合による社交ダンス活動支援
- 9) ドリームステージの展開

1. 指導部

- 1) 公認指導員資格更新研修では従来のダンス技術を主体としたものにとどまらず、スポーツ指導者に必要な知識及び指導員の心得え並びに技術研修を取り入れ、会員拡大と普及を踏まえた内容の充実を図る。
- 2) 新規指導員養成講習会とそれに伴う選考試験、並びに公認指導員研修会を全国レベルで実施し、公認指導員の充実と指導技術向上を図る。
- 3) 資格取得後3年以上経過したC級指導員に対し、B級指導員への昇級選考試験を引き続き実施する。
- 4) B級指導員からA級指導員への昇級試験を実施する。
- 5) (公財)日本体育協会競技別指導者制度のH30年度改定と連携した日体協公認ダンススポーツ「指導者」の養成を行う。
- 6) 全国6ブロック指導部長会議を開催し、コンGRESS等各事業計画の連絡及び各ブロックにおける要望事項等の意見拝聴と調整を行う。
- 7) PD部門との指導員資格制度の整合性等の検討を行う。

具体的な事業は以下の通り。

- (1) 公認指導員研修会
- (2) 新規公認指導員選考試験とそのための講習会
- (3) B級公認指導員昇級試験とそのための講習会
- (4) A級公認指導員昇級試験
- (5) (公財)日本体育協会スポーツ指導者制度改定と連携した検討
- (6) 全国ブロック指導部長会議
- (7) 指導員資格制度見直し後の運用実施と検証を行う。
- (8) 文科省における民間の資格検定についての外部評価の仕組みづくりの検討

2. 技術認定部

技術認定制度は、平成17年度の制度施行から14年を経過しており、その実績を評価検証しつつ、非会員への受験機会の拡大や選手経験者への受験機会の提供等更なる改善に努めるとともに未経験者への導入方法について、これまでの常識にとらわれない広い視野で検討するものとする。

なお、上級受験者への指導法や合否判定ノウハウ等技術認定会の先進事例の情報共有と水平展開も含めて以下の事項に取り組むものとする。

- (1) 公益法人としてのスタンスによる非会員向けの活動の促進
- (2) グレードコースの着実な展開による普及促進と受験者層の底辺拡大
- (3) ハイグレードコースの発展に向け、A 級技術認定員養成のための動画による実技検定会の実施等多岐にわたる誘導施策の展開
- (4) 合否判定基準の全国統一を促進するための本部審査(G1、HG1を本部技術認定員が動画審査)の実施
- (5) ドリームステージの展開

3. ダンススポーツ医科学研究部

WDSF教本に対応する日本語版ダンススポーツ教本及び各教本に対応した DVD をもとに最新のダンススポーツ技術の普及を図る。

また、以下の課題を官学共同研究等を含め、推進する。

- (1) 健康長寿に極めて有効とされる社交ダンスの普及・検証
- (2) ダンサーの身体能力の把握とその向上策(強化選手、準強化選手等)
- (3) ダンサーの怪我予防とパフォーマンス向上
- (4) 視線計測カメラを用いた、競技ダンスにおける審査員の行動分析
- (5) AI と IoT の融合による巣鴨地区の社交ダンス活動支援

4. 社交ダンス部(旧社交ダンス普及プロジェクト)

競技スタイル以外のダンスの普及振興と愛好者の発掘、養成を図り、裾野の広いダンス愛好者層の形成に努めるとともに、ダンス関連産業と連携、協力し、ダンス文化再構築を促進するため、「社交ダンス普及プロジェクト」を改組して「社交ダンス部」を設置し、以下の事項に取り組む。

- (1) 初心者講習会の全国展開
- (2) 初心者指導法の確立
- (3) 行動する指導員の養成
- (4) 新たなターゲットへの展開
- (5) その他

国際本部

国際本部は WDSF 及び ADSF によるオリンピック関連事業の一翼を担うべく、各国競技団体との協調の下、国際的に、次のダンススポーツ活動を推進する。

- (1) WDSF 及び ADSF 事業への協力
- (2) WDSF 選手権及び WDSF 各種競技会等への選手や役員の派遣手続
- (3) 国内事業における海外関係への担当、協力、助言
- (4) ダンススポーツのオリンピック種目を目指した活動を行う

具体的には次のとおりである。

- (1) WDSF 及び ADSF 総会等に参加し、また、e-mail 等による各種情報伝達により国際事業への協力、企画を行うとともに、国内への案内を行う
- (2) 海外競技会選手派遣部(選手派遣部)を中心に WDSF 競技会に関する案内と派遣手続、選手への助言を行う。選手派遣については世界スタンダード選手権、世界ラテン選手権、世界 10 ダンス選手権、世界シニアスタンダード選手権、世界シニアラテン選手権、世界ユーススタンダード選手権、世界ユースラテン選手権、世界ユース 10 ダンス選手権、世界ジュニアスタンダード選手権、世界ジュニアラテン選手権、世界ジュニア 10 ダンス選手権、アジアシングルダンス選手権、及び WDSF 関連競技会等の競技会への派遣手続を行う
- (3) WDSF World Open、WDSF International Open 競技会等の海外関係事業,そのほか各加盟団体からの依頼による講師や選手の海外からの招聘活動を行う
- (4) 2018 WDSF World Championship Senior IV Standard in Nagano 開催への支援を行う

1. 国際渉外部

国際事業への協力、企画を行うとともに、国内への案内を行う。また競技会等での海外関係事業,そのほか各加盟団体からの依頼による講師や選手の海外からの招聘活動を行う。

2. 選手派遣部

日本代表選手を派遣する。

- (1) 日本代表選手のエントリー
世界選手権、ワールドカップ、アジア太平洋圏内の代表競技会に、各年代の選手を派遣する
国際派遣選手選考規程に則り選考された選手のエントリーを行う
- (2) 旅費補助の確認/承認
海外派遣選手援助規定に従った旅費が妥当である事を確認し、旅費精算の承認を行う
- (3) シニアⅡ、シニアⅢ、シニアⅣについて
シニアⅠ以外のシニア年齢層については、一定の基準を満たした選手についてのエントリーを行う
- (4) その他国際競技会
妥当と判断した際には、エントリーを行い、代表派遣手続きを行う
- (5) 帯同役員の派遣
規程に基づき帯同役員を派遣するが、選手強化部と連携してメンバーを選出する

競技本部

競技本部は5つの専門部に分かれて活動し、その各部の連携をはかり、以下の事業を行う。

- (1) JDSF 公認全日本統一級競技会の推進
- (2) JDSF主催競技会の改善に関する検討
東京オープン、三笠宮杯全日本選手権、都道府県対抗全国大会、グランプリ、ブロック選手権等への協力支援及び整備
- (3) 審判員、チェアパーソン、スクルティニア等競技資格者の質の向上及び、資格者の管理
- (4) 国際的レベルに達する選手及びジュニア選手の育成努力
- (5) ジュニア層の底辺拡大と競技力向上
- (6) PD 本部を加えた関連各本部、委員会への協力

1. 競技部

- (1) JDSF競技規則、競技関連規程の検討と改訂
- (2) 統一級委員会及び各ブロックと協調して、JDSF 公認競技会の開催推進、調整及び支援、公認認可手続き
- (3) 競技資格部のチェアパーソンとスクルティニア講習会の開催協力
- (4) 競技本部、競技支援システム部と合同で会議(9回)を開催し、各部と連携し競技関連の問題点を処理
- (5) 派遣選考会及びグランプリの調整、支援、ダンススポーツランキングの集計、広報
- (6) 会員拡大を目的とした、生涯スポーツ系の競技会(普及競技)開催促進

2. 審判部

- (1) JDSF公認承認競技会への審判員派遣
- (2) 新規JDSF公認審判員登録手続きの実施
- (3) 審判員研修会(公認・承認)の実施
- (4) WDSF公認審判員登録手続きと派遣手続きの実施
- (5) PD 審判部との連携とPD 審判員の派遣業務
- (6) その他
 - * 審判員活動に関わる記録の整備・保管を行う
 - * 新審判基準策定、新審判方式実施等に関して必要な協力と提言を行う

3. 選手強化部

- 目標: 世界レベルの選手(ファイナリスト)を輩出
- 今年度の目標
 - ジュニア・ユースは世界選手権ファイナルを目指す
 - アダルトは St.La とともに2次予選進出を、10 ダンスは準決勝以上を目指す
- 3年後の目標
 - ジュニア・ユースは決勝、アダルトは準決勝進出
- 5年後の目標

全てのカテゴリーで世界レベルの選手が出現している

具体的強化策

- (1) 海外競技会・海外合宿・チーム派遣
 - 1) 海外合宿 4/125-5/3 イタリア・モリネーラ
4/29 WDSF INTERNATIONAL OPEN 出場
海外トレーニングキャンプへの参加支援
 - 2) アジア地域 WDSF 競技会出場支援
 - 3) 世界選手権 ジュニア・ユースを中心に帯同役員の派遣
- (2) 国内競技会・国内合宿・トレーニング
 - 1) 国内合宿 : 夏 8/25-8/27 (鹿島)
春 3/15-3/17 (未定)
 - 2) 強化練習会、特別強化練習会(海外優秀コーチ設置)
年間 6 回程度(日曜 12:00-17:30 を基本とする)
年3回海外トップコーチを招聘しての特別強化練習会を行なう
 - 3) パフォーマンストレーニング
毎週の水曜 夜間 2 時間行なう。
- (3) コーチングスタッフによる支援、サポート
- (4) 医科学支援サポート
体力測定、管理、分析支援
JISS、DMA の活用サポート
- (5) JOC 助成金を最大限活用した強化事業
- (6) ブルボン DST の活用 (ジュニア・ユース選手)

4. ジュニア育成部

ジュニア層の底辺拡大と選手強化部との連携を図り、競技力向上の事業を推進するため、以下の事業を行う。

- (1)ジュニア指導員の確保、資質の向上を図るための事業
 - 1) 新規ジュニア指導員養成講座の開催及び支援
 - 2) ジュニア指導員の研修会(7月、2月)
 - 3) ジュニア指導員検定(10月予定)
 - 4) ジュニア指導員要綱の改訂版(第6版)発行
 - 5) ジュニア指導員講習会・研修会のための講師養成
 - 6) ジュニア準指導員制度の管理
- (2)ジュニア競技会開催と開催推進事業
 - 1) 第13回オールジャパンジュニアダンススポーツカップ 2018in東京
 - 2) 各都道府県でのジュニア競技会の推進活動
- (3)ジュニア・ユースアスリートクラブの活動、運営
 - 1) 会員登録、会員の成績管理等
 - 2) 研修会、交流会等

- 3) 競技会参加旅費の支援(選手強化部と連携)
 - 4) 表彰
 - 5) 会員手帳、会員のしおり 発行
- (4) 認定ジュニアクラブ(サークル)への情報発信

5. 競技資格部

講習会(資格取得、資格更新)及び研修会(資格更新、受講歴)を開催し、競技資格者の資質の向上及び資格更新制度の適正な運用を図る。

資格更新制度適用の競技資格の講習会又は研修会の開催予定表

| 区 分 | チェアパーソン (競技長) | スクルティニア (採点管理者) |
|-----------|------------------|--------------------|
| 北海道ブロック | 2 | 2 |
| 東北ブロック | 2 | 2 |
| 関東甲信越ブロック | 11 | 11 |
| 中部ブロック | 3 | 3 |
| 西部ブロック | 5 | 5 |
| 九州ブロック | 2 | 2 |
| 計 | 25 (内講習会 5 回) | 25 (内講習会 5 回) |

- (1) 各ブロックは、資格更新のために、各競技資格者にかかる研修会を行う。
ただし、2つの競技資格のうちの1つについて、希望すれば本部講師による資格取得のための講習会を追加開催することができる(都道府県単位で開催)
- (2) 競技資格部の承認を得て、都道府県連盟が自らの予算で講習会又は研修会の開催を奨励する
- (3) リアルタイム採点管理者(STS)の資格取得要項の確立

情報システム本部

情報システム本部では、JDSF情報システム(データベース)をもとに、正確で迅速な情報提供並びに加盟団体との各種申請・登録手続きのWeb処理による事務処理の迅速化、ペーパーレス化を推進する。

一般会員、学連会員、3種加盟団体会員、PD会員等の会員管理機能の提供や、特定指導員、ジュニア指導員等の管理機能の改修等を実施すると同時に、JDSF会員サービスセンターの運用開始に向けたシステムの開発を進める。

競技会関連システムでは、新審判システムV3.0の開発を実施する。また、引き続き、無線LAN端末による競技会支援システムの安定化を推進し、関連団体への普及を図り、競技会の運営効率と入力 of 正確性を図る。

<平成30年度開発予定システム>

- (1) JDSF情報システムの機能強化
- (2) JDSF会員サービスセンター運用システム
- (3) 新審判基準システムV3.0の開発

1. 競技支援システム部

競技会運営を支援する情報システムの開発、運用、管理及びその改善を担当し、JDSF公認・承認競技会の正確、円滑な運営と改善を図る。

- (1) 競技支援システムの開発、運用、使用促進及びその改善のための立案と実施、並びに関連規程案の作成、提案
- (2) 競技会結果データの確認と主催者への教育指導、マニュアルの作成、並びに正確な昇降級認定、データの登録管理システム部への提出
- (3) リアルタイム採点システムの修正改善及びその普及

2. システム開発部

競技規程の改正に連動したシステム開発を実施する。

ニュージェネレーションダンス本部

10 ダンス又はそれ以外のダンスの普及を根底に、他ジャンルダンス団体や他のスポーツ団体との協調と整合性の確保に努め、新たなダンス競技体系の整備を行う。また、FISE 広島にブレイクダンス正式種目化についても、ブレイクダンス部を中心に対応。

1. イベントプロモーション部

- (1) 若手学連 OBOG 練習会 & ミニコンペの開催のための主導人員確保
- (2) 他ジャンルと若手学連 OBOG の合同イベントの企画会議の実施
- (3) 他団体、又は加盟団体のダンスイベントへの協力

2. マネジメント部

- (1) ブルボン DST 所属選手の管理・派遣
- (2) ブルボン社への出演報告
- (3) 特定選手の管理・派遣
- (4) ショーチームの管理・派遣
- (5) インストラクターの管理・派遣
- (6) 他団体や他企業との協業による新たなイベント開催
- (7) 3 種加盟団体の会員拡大

3. ブレイクダンス部

- (1) ブレイクダンスの普及
- (2) FISE 広島への参加(4/7)
- (3) ユースオリンピック最終予選 世界選手権の開催(5/20)
- (4) ブレイクダンス競技規程の普及と管理
- (5) ブレイクダンス審判員の育成
- (6) ブレイクダンス強化選手の育成

- (7) ブレイクダンス審判システム検討
- (8) ユースオリンピック選手派遣準備と派遣

4. エンターテイメントダンス部

- (1) フリースタイルダンスの普及
- (2) インターバルショーの群舞制作
- (3) ステージキッズの育成
- (4) 定期ワークショップの実施

5. アクロバットロックンロール部

東海大学を中心に選手の募集を行っていく。

マーケティング本部

スポンサー獲得と集積事業を行う。また、ダンススポーツの普及のため広く国民に向けてダンススポーツの知名度を高める活動を行う。

1. マーケティング部

東京オープン、三笠宮杯等の主要競技会について、プロモーション活動を積極的に行いダンススポーツの認知度の向上と新たなスポンサー獲得を目指す。

- (1) オフィシャルスポンサー契約
 - 1) (株)ブルボン
 - 2) 養命酒造(株)
 - 3) チャコット(株)
- (2) PR活動を強化して、新たなスポンサー獲得を目指す

2. 事業部

下記事業を実施する。

- (1) CD制作及び販売
- (2) 指導部・技術認定部制作の教本、DVD 販売
- (3) 次のグッズを販売
 - 1) JDSFオリジナルグッズ
 - 2) メーカーとのタイアップグッズ
- (4) 各地でパーティー開催の補助。
- (5) ダンスのできるホテル、旅館との提携。
- (6) テレビ局、雑誌社との関係
 - 広報部、事務局、各部門と連携し告知を実施

3. 広報部

- (1) JDSF 広報誌「Dance Dance Dance」の発行・充実、その他広報活動
- (2) ホームページでの広報活動
 - 1) JDSF ホームページの更新維持管理
 - 2) JDSF メール処理の維持管理
- (3) メイン競技会のマスコミ認知活動、露出管理

4. PR 部

- (1) マスコミ等への働きかけ
テレビ・新聞等マスコミへの働きかけを行い、会員及び国民へのダンススポーツへの普及促進を図る
- (2) ユースオリンピックを機に、若年層向けの大々的なダンススポーツPRを展開
若年層向けのプロモーションビデオを制作し、ホームページやSNSでの拡散を図る

PD 本部

基本方針である「魅力あるPD部門の実現～GD選手がターンPDしたくなるような、また他団体プロが入会したくなるようなPD部門の実現～」を目指して、今年度も活動を継続する。

具体的には、以下の通り。

①PD部門の組織拡大と強化

- ・2018年度PD登録者数約600名から、約20%増の約700名を目標とする。
- ・遅れているブロックへの支援・・・中部ブロック、その他東北ブロック、北海道ブロック。
- ・PDブロック調整会議:2月東京、5月大阪、7月静岡、9月仙台、11月東京。

②PD競技会の開催拡大・・・PD全日本10ダンスの開催

- 2/25 WDSF PD スーパーグランプリ St. (東京体育館)・・・東京オープン併催
- 4/1 PD グランプリカップ St (大分)
- 5/13 PD グランプリカップ La (大阪)
- 7/1 PD 全日本10ダンス選手権 (京都)
- 7/22 PD グランプリカップ La (浜松)
- 9/16 PD グランプリカップ St (仙台)
- 9/23 PD グランプリカップ La (札幌)
- 11/25 三笠宮杯 PD 全日本選手権 St&La (東京体育館)

③WDSF-PDとの連携強化

- ・PDランキングによって決定した日本代表のWDSF PD 世界選手権への派遣
- ・PD スーパーグランプリ(St, La)の日本開催(2019年3月)

④PD選手強化活動の開始

- ・GD選手強化活動との連携

1. 技術部

- (1) 定例会議を毎月第3水曜日に開催する。平成30年度12回
また部内の技術研究会議を行う。年度内4回

- (2) PD 公認講師候補者勉強会を各月開催する。平成30年度 6 回
講師の指導要領の統一化の為の勉強会を行う。
- (3) また JDSF 認定ダンス教室の制度を推進するにあたり、各地域においてダンススポーツF
教本や JDSF についての知識の研修会を開催する為各地域の講師の育成をすることが
必要である。

2018 5/22(火)、7/24(火)、9/12(火)、11/6(火) ,2019 1/22(火)、3/19(火)

- (4) 各ブロックが開催する WDSF 教本講習会に派遣要請があれば講師を派遣する。

| 各ブロックダンススポーツ教本研修会講師派遣予定 | | |
|-------------------------|----------|-------------|
| | 前期 | 後期 |
| 九州 B | 1 | 1 |
| 西部 B | 1 | 1 |
| 中部 B | 1 | 1 |
| 関東甲信越 B | 6 月 17 日 | 11 月 18 日 |
| 東北 B | 7 月 | 平成 31 年 3 月 |

2. PD 事業部

事業部会の開催 6 回 (4,6,8,10,2 月はスカイプで 12 月は有明で)

Teacher & Student(T&S)並びにマスターズの全国統一競技規定の作成、及び実施の促進、
広報

3. PD 競技部

- (1) 毎月 1 回、定例部会の開催(第 2 月曜予定)
- (2) 各 PD グランプリカップ実行委員会への出席及び視察
- (3) PD 競技規程等の内容検討・修整
- (4) PD ポイントランキングの集計
- (5) WDSF-PD 世界選手権代表選手の選定及び精算書類の確認
- (6) 東京オープン、三笠宮杯実行委員会への出席
- (7) PD 本部会議への出席

4. PD 審判部

- (1) 審判員講習会
更新時の審判員義務講習会と新規の審判申請者の為の審判員講習会を兼ねて行う
- (2) 新規の審判申請者の為の講習等
- (3) 審判部と各ブロックの連絡部との全国連絡会議
各ブロックに連絡部を設け審判部との全国連絡会議を年 2 回行う
内訳
- (4) GD 審判部との合同会議
- (5) PD 審判部会議
- (6) PD スーパーグランプリカップへ審判部員の出向

ボールルームダンス本部

1. ダンス教室事業推進部

- (1) 認定ダンス教室での新規若年層の顧客確保
- (2) 教室事業の広報体制と支援事業の企画立案及び実施
- (3) プレパレーションステージ等の公認技術認定試験の体系的な確立と実施

2. BRダンス普及部

- (1) 全国認定サークル等に対する共通ルーティンの作成及び広報制度の確立
- (2) 認定ダンス教室でのドリームステージまでの指導要領の作成
- (3) 学校学習、教員免許証講習取得と広報
- (4) ボールルームダンス普及促進の為パーティー案等の企画立案及び実施

3. BRダンス資格・管理部

- (1) 新規PD資格試験制度の確立と資格付与
- (2) ボールルーム地域指導員の資格付与、会員資格管理
- (3) PD審判資格付与制度の確立と管理
- (4) 管理部、登録管理部、資格認定委員会等との連携及び協力
- (5) PD資格、BR地域指導員資格及び審判員移行制度の確立

PD アスリート委員会

PD 所属のアスリートの立場の確立とPDA全体の意見集約

1. 6支部ごとの意見集約

PD ブロック運営委員会

1. PD ブロック調整会議

1. 5月13日(日) PD グランプリ in 大阪 L(不死王閣)
2. 7月23日(日) PD グランプリ in 静岡 L(浜松アリーナ)
3. 9月16日(日) PD グランプリ in 仙台 S(青葉体育館)
4. 11月25日(日) 三笠宮杯 P 全日本 PD 選手権 S&L(駒沢体育館)
5. H31年3月10日(日) 東京オープン PD スーパーグランプリ(駒沢体育館)

2. 東北 PD ブロック運営委員会

1. WDSF 教本講習会(2回)
2. その他 PD 啓発活動

3. 関東甲信越 PD ブロック運営委員会

| | | |
|--------------|---------|---|
| 定例委員会 | | 毎月第3週月曜日の10:00~12:00 場所: シノダスポーツダンスクラブ (新宿) |
| 5月3日(木) | T&S | PD 関東甲信越ブロック競技大会 すみだ産業会館 |
| 7月8日(日) 予定 | マスタークラス | PD 関東甲信越ブロック競技大会 すみだ産業会館 (予定) |
| 7月15日(日) | PD | PD 関東甲信越ブロック選手権大会 in 長野 |
| 9月9日(日) 予定 | T&S | PD 関東甲信越ブロック競技大会 すみだ産業会館 (予定) |
| 11月未定 | マスタークラス | PD 関東甲信越ブロック競技大会 すみだ産業会館 (予定) |
| 2019年 | | |
| 2月3日or17日 | | ダンスパーティー 京王プラザホテル (新宿) |
| 3月24日(日) | PD | PD 関東甲信越ブロック選手権大会 新宿コスミックセンター |
| 6月17日(日) | | 第1回WDSF教本講習会 DTC |
| 11月18日(日) | | 第2回WDSF教本講習会 DTC 予定 |
| 全国PDブロック調整会議 | | |
| 5月13日(日) | | PDグランプリin大阪 |
| 7月22日(日) | | PDグランプリin静岡 |
| 9月16日(日) | | PDグランプリin仙台 |

4. 西部 PD ブロック運営委員会

| | | |
|----------------------|--|-----------------------------------|
| 定例委員会 | | 年12回 月1回木曜日 |
| <PD西部ブロックランキング競技会> | | |
| 京都 | | 西山公園体育館 S&L |
| 5月3日(祝・木) 奈良県 | | 香芝市総合体育館(予定) L |
| 6月17日(日)GD西部ブロック | | 不死王閣グリーンホール S&L |
| 7月8日(日)大阪DS連盟 | | 不死王閣グリーンホール S&L |
| 11月3日(祝・土) | | JDSF-PD西部ブロック選手権(阿倍野スポーツセンター) S&L |
| 11月18日(日) 奈良県 | | 香芝市総合体育館(予定) S |
| 3月(予定) | | JDSF-PD西部ブロック選手権(場所未定) S&L |
| <全国PDブロック調整会議> | | |
| 5月13日(日) | | PDグランプリ大阪競技会 L |
| 7月22日(日) | | PDグランプリ静岡競技会 L |
| 9月16日(日) | | PDグランプリ仙台競技会 S |
| 11月25日(日) | | 三笠宮杯全日本PD選手権 S&L |
| H31年3月10日(日) | | 東京オープン PDスーパーグランプリ |
| GD,PDブロック調整会議 | | 年1回(場所未定) |
| WDSF教本講習会(3回) | | ①4月15日 ②10月7日 ③1月27日 (予定・場所未定) |
| 6月 支部長会議&意見交換会 | | |
| 8月 夏のジュニアダンスフェスタ | | 芦屋市市民会館 |
| 9月 ティーチャー&スチューデント競技会 | | (未定) |
| 平成31年1月 GD・PD合同練習会 | | 阿倍野スポーツセンター |

5. 九州 PD ブロック運営委員会

| | | |
|------------|------|---|
| 定例委員会 | | 4回(出席者は役員10名)、8回スカイプ会議 |
| 5月6日(日) | T&S | 九州ダンススポーツ競技大会 in 長崎 長崎県立総合体育館 |
| 7月16日(月・祝) | PD | JDSF-PD九州ブロック選手権/九州ダンススポーツ競技大会 in 佐賀 佐賀県総合体育館 |
| 8月5日(日) | ジュニア | 九州ダンススポーツ競技大会 in 山鹿 山鹿市総合体育館 |
| 8月19日(日) | T&S | 九州ダンススポーツ競技大会 in 延岡 ホテルメリージュ |
| 11月18日(日) | PD | JDSF-PD九州ブロック選手権/Japan Dance Trophy (宗像ユリックス)全国メイン競技会 |
| 2019年 | | |
| 1月27日(日) | ジュニア | 九州ダンススポーツ競技大会 in 宗像 宗像ユリックス |
| 3月3日(日) | PD | JDSF-PD九州ブロック選手権/九州ダンススポーツ競技大会 in 宗像 宗像ユリックス |
| 4月15日(日) | | 第1回WDSF教本講習会 |
| 未定 | | 第2回WDSF教本講習会 |
| 未定 | | パーティ |
| 未定 | | トライアルダンスパーティ 熊本市青年会館ホール |
| 業務執行理事会 | | 3か月に1回 |
| 2月25日(日) | | 全国ブロック調整会議(東京オープン) |
| 5月13日(日) | | 全国ブロック調整会議(PDグランプリ大阪競技会) |
| 7月22日(日) | | 全国ブロック調整会議(PDグランプリ静岡競技会) |
| 9月16日(日) | | 全国ブロック調整会議(PDグランプリ仙台競技会) |
| 11月25日(日) | | 全国ブロック調整会議(三笠宮杯全日本ダンス) |

構造改革委員会

少子高齢化と会員の減少を踏まえ、さらにはPD本部創設の意義を踏まえ、当連盟の目的を中長期にわたって確実に実施できるよう、会員制度、総会構成員、運営体制等も含めた組織機能や事業の在り方等を抜本的に検討する。

- (1) 企画委員会、財務委員会、組織委員会、ブロック運営委員会等と連携して、連盟の機能や事業を抜本的に見直し、財務状況の改善に努める。
- (2) 普及本部、マーケティング本部、ニュージェネレーションダンス本部、PD本部、会員拡大委員会等と連携し、新規事業領域への進出、展開が可能な体制の構築、規約類の整備等に努める。

環境変化に即応した戦略的な事務処理体制を構築するとともに時代の経過とともに見直すべき事業や業務、組織体制等について、国民目線及び会員目線で検証、改善し、併せてIT化やアウトソーシング等による業務の効率化を推進する

企画委員会

企画委員会は普及活動の一貫で、普及部と協力してワールドスタイルダンス指導(社交ダンス部)、又、構造改革委員会とJDSF全体のあり方に取り組む。

組織委員会

組織委員会は、本連盟の加盟団体が活発に運営されるように支援及び指導を行うが、平成30年度の重点実施事項は、構造改革委員会と連携して以下の施策を実施する。

- (1) 加盟団体の県体協加盟促進支援
- (2) PD部門の円滑な活動のための環境整備と仕組み、諸制度の検討
- (3) ダンス人口の高齢化と減少に係る抜本施策の検討
- (4) 新たな会員制度や加盟団体の在り方の検討
- (5) 定款、加盟団体規程等の抜本的な再検討

資格試験制度委員会(旧JDSF資格試験制度等プロジェクト)

ダンス界の健全な発展に向け、JDSF全体として整合性のある資格試験制度を構築し、運営していくため、普及本部内に設置していた「JDSF 資格試験制度等プロジェクト」を改組し、「資格試験制度委員会」を設置し、以下の事項に取り組む。

- (1) PD資格、GD指導員資格、審判員資格等整合制のある仕組みと制度の検討
- (2) PD教室で提供する学習プログラムの検討及び技術認定制度との調整
- (3)
- (4) 新たな視点に基づく資格試験及び学習プログラム等の検討

ブロック運営委員会

1. 北海道ブロック運営委員会

- (1) 北海道グランプリは従来8月開催としていたが、PD競技会実施のため日程を9月23日に変更した。
- (2) 北海道ブロック大会(道大会)を下記のとおり開催する。
 - 4/1 北海道知事杯争奪 前期北海道 DS 選手権大会
 - 9/23 北海道知事杯争奪 後期北海道 DS 選手権大会(グランプリ併催)
- (3) 北海道においてダンススポーツの普及拠点としてDTC開設に向けて検討する。

2. 東北ブロック運営委員会

- (1) 東北ブロック主催又は主管の競技会を次の通り実施する
 - 1) 6月17日 福島市国体記念体育館 前期東北ブロック選手権 in 福島

- 2) 9月16日 仙台市青葉体育館 2018 ダンススポーツグランプリ in 仙台
- 3) 10月14日 秋田県立体育館 後期東北ブロック選手権 in 秋田
- (2) エントリー減少に歯止めをかけるため若手アスリート発掘事業を実施する
- (3) 指導員更新研修会の受講資格を拡大して JDSF の現状等に関する情報共有と活動原資の確保を促進する
- (4) 学生大会支援のため広告を掲出する

3. 関東甲信越ブロック運営委員会

- (1) 関東甲信越ブロック運営委員会及び拡大運営委員会を通じ、1都9県連盟の事業の運営円滑化を図る。
- (2) DSC 会員に関する選手登録・競技会エントリー手続き、会員管理、及び情報提供等並びに都県連盟の DSC 活動支援を行う。
- (3) 関東甲信越ブロック大会(選手権)を実施する。
- (4) ダンススポーツ普及活動を行う。

4. 中部ブロック運営委員会

- (1) 中部ブロック主催又は主管の競技会開催は次の通り
 - 1) 5月20日 中部ブロック選手権大会
石川県、金沢市にて開催(金沢勤労者プラザ)
 - 2) 6月03日 全日本選手権 10 ダンス開催
(津島市文化会館)
 - 3) 7月22日 ダンススポーツグランプリin静岡
(浜松市 浜松アリーナ)
 - 4) 10月21日 都道府県対抗戦(福井県 福井市体育館)(PD 競技会併催)
 - 5) 愛知・静岡・岐阜・富山・福井・三重の各県においてブロックポイント戦を各1回開催
- (2) 10月20日 全国代表者会議(福井県福井市地域交流プラザ)
- (3) 指導員講習会、研修会の開催
- (4) 競技資格者講習会・研修会の開催(岐阜県予定)
- (5) ブロック会議を年4回以上開催(3・6・9・12月予定)
- (6) PD 中部ブロックとの連絡会議を開催(内容、回数は調整中)
- (7) ジュニア育成に注力する。

5. 西部ブロック運営委員会

- (1) 西部ブロック運営委員会
年6回開催(奇数月)
 - 1) 14府県の運営円滑化及びサポート、
 - 2) 体協未加盟(鳥取・広島・高知)県の加盟促進と援助
 - 3) ブロック内、競技日程調整
 - 4) 各府県 活動報告 及び 連絡と意見交換
 - 5) 各プロ団体との意見交換会開催(不定期)
- (2) 西部ブロック主催(主管競技会)

- 1) 5月13日 グランプリ大阪 ブロック主管
- 2) 6月17日 西部ブロック戦 ブロック主催 大阪府 DSF 主管
- (3)指導員研修会・講習会年11回開催予定 (14府県)
 - 1) 新規指導員講習会 随時(近畿地方、中四国地方で各1回の予定)
 - 2) B級指導員昇級講習会 随時(新規指導員講習と同時開催を検討)
- (4)競技資格者研修・講習会
 - 1) 競技会支援システム運用資格者講習(新規・更新)実施
 - 2) 公認競技長・採点管理長テキスト研修

6. 九州ブロック運営委員会

- (1)4月1日グランプリラテン in 大分の主管
- (2)9月9日九州ブロック選手権 in 熊本の主催
- (3)ゼネラル運営委員会の開催(3回)
- (4)公認指導員講習会・研修会の主催(8回)
- (5)チェアパーソン・スクルティニアテキスト講習・研修会の主催(各1回)

財務委員会

ダンス人口の高齢化と減少傾向の中で、各県のダンススポーツ連盟の財政運営が難しくなりつつある。各県連盟の運営が存続しうる財務のあり方について、財務委員会として問題提起をし取り組む。

会員拡大委員会

- (1) 社交ダンス部、ダンススポーツ医科学研究部、ジュニア育成部等関連部局と連携して、社交ダンス愛好家の拡大・会員の拡大の方策を研究し実施する。
- (2) ダンス愛好家の拡大のために初心者に対してワールド・スタイル・ダンス等の非競技系ダンスを普及するためのノウハウを研究し、指導者を育成する。
- (3) 高齢者の健康と介護予防の方策として「社交ダンス de 健康長寿活動」を提案する。その説明のために各ブロック単位での研修会を実施する。本年度は、西部ブロックと東北ブロックで実施する。
- (4) 高齢者の健康と幸福のために老人ホームや介護施設での取組のノウハウを研究する。
- (5) 若手ダンサーの交流を支援するため、学連 OB や社会人経験者の練習会を組織するとともに、初心者でも参加できる交流会等を行い、若者への普及のための方策を研究する。

学校教育検討委員会

大学の正規のカリキュラムにダンススポーツを導入するため、シラバスの作成や授業内容へ

の支援を行うとともにカリキュラム導入の可能な大学等への働きかけを行う。

また、文部科学省の学習指導要領で中学校は平成 24 年 4 月から「ダンスと武道」が男女共に必修となり全面実施されている。このことから、児童・生徒が生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育て健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するため、幼・小・中・高等学校の学習指導要領等を踏まえて、ダンススポーツの授業化に向けて研究・実践を通して指導体系を構築するとともに、学習指導教材の研究・開発を行いその積み重ねの成果を学校教員、一般及びダンススポーツ指導者に伝達し指導者の養成を図る。

アンチ・ドーピング委員会

以下の事業を実施する。

1. ドーピング検査の実施とその支援事業
2. アンチ・ドーピング啓発教育
 - (1) 選手のアンチ・ドーピング啓発
 - (2) ジュニア選手の親、コーチへのアンチ・ドーピング啓発
 - (3) 組織役員へのアンチ・ドーピング啓発

新審判基準委員会

新審判基準委員会は、ダンススポーツの審判の客観化のための活動を行っており、これまで国内全てのグランプリ競技会及び三笠宮杯で新審判方式を実施している。

また、WDSF も日本発の絶対評価に倣い、独自開発した新審判方式を採用し多くの国際試合で採用している。絶対評価方式での客観性や公平性を高く評価している。

平成 30 年度の重点実施事項は、以下の通りである。

1. 新審判基準 V3.0 システムの運用を開始し、安定運用を図る
2. 新審判方式の普及のため、審判研修会を継続的に開催する
3. 各グランプリ大会後に審判員 Review を行うとともに、審判員研修においてもばらつきの原因の究明や意見交換をし、客観化を向上させる
4. 関東甲信越ブロック選手権のような、グランプリ以外の一般競技会でも、簡易方式(新審判方式 B タイプ)の実施をすることにより普及を図る

アスリート委員会

アスリート委員会は、トップアスリート選手の意見を、組織の運営に反映することを目的として、選手からの意見の集約と、JDSF への提言を行っていく。

また、JOC(日本オリンピック委員会)アスリート委員会とも連携し、他のスポーツ団体(NF)との情報交換も行っていく。

環境委員会

JOCによる環境保全活動は、1972年に札幌で開催された第11回オリンピック冬季競技大会に、その端を発している。以来、JOCは、スポーツと地球環境保全の課題に真摯に取り組み、オリンピック大会組織委員会の環境保全活動においても指導的役割を果たされている。

当連盟においては、JOCのこうした活動に学び、2012年2月に環境委員会を設置し、スポーツと環境保全活動を開始したが、平成28年11月度の業務執行理事会より議案書のペーパーレス化を推進したように、平成30年度もその活動を継続し、より発展させていく。

1. JDSF及び加盟団体主催の競技会での環境横断幕の掲出と環境保全の訴え
2. JDSF事務所会議室への環境ポスター掲示
3. 競技会等における環境保全活動
4. 事務所における環境保全活動
5. 「環境問題」がクローズアップされている地域等調査や活動方法の検討
6. 「環境問題」・「環境ポスター」等々の広報誌への掲載による環境保全活動の啓発
7. 指導員研修会等での「環境問題」をテーマとした講習の企画

倫理委員会

1. ダンススポーツ活動における子供のいじめ防止及び審判員の選手へのパワーハラスメント防止を中心とした倫理活動について、連盟内の啓発に努めるとともに、相談があった時には迅速、適切に対応する
2. 倫理規程の周知、徹底を図る

事務局

1. 総務部

- (1) 各種業務規程等の整備
- (2) 就業規則に基づく人事関連運営の適正化
- (3) 加盟団体規約(都道府県連盟規約)適正化の推進
- (4) 会議等の適切な運営・議事録管理
- (5) 加盟団体に対する的確な情報伝達

2. 経理部

- (1) 公益社団法人としての適正な内部統制の実行
- (2) 経理規程等の整備
- (3) 予算管理及び経費支出の適正化
 - 1) 各部門責任者による予算執行状況の把握推進
 - 2) 各部門責任者の判断に基づく経費支出への統一
 - 3) 経理処理の適正化、明確化の推進

- ① 会計単位(公益、収益、法人)区分経理の適正化
- ② ブロック経理処理方法の統一

3. 法制部

- (1) 個人情報保護に関する規程の整備
- (2) セキリティ対策に関する規程の整備

4. ダンススポーツトレーニングセンター(DTC)の運用

- (1) 現状の技術指導の定期的使用プログラム1回に追加し、新たなプログラム実施を図る
- (2) 当連盟のトレーニングセンターとして、連盟内各種トレーニングの使用率のさらなる拡大を目指す

JDSF主催競技会開催予定

平成 30 年

- | | | |
|---------------|-----------------------------|------------------|
| 4 月 1 日 | ダンススポーツグランプリ in 大分 | [べっふアリーナ] |
| 5 月 13 日 | ダンススポーツグランプリ in 大阪 | [不死王閣] |
| 5 月 20 日 | 世界ユースブレイキン選手権 | [カルッツ川崎] |
| 6 月 3 日 | 全日本10ダンス選手権 | [愛知:津島市体育館] |
| 7 月 14 日、15 日 | 世界シニアIV選手権 | [長野:ホワイトリング] |
| 7 月 22 日 | ダンススポーツグランプリ in 静岡 | [浜松アリーナ] |
| 7 月 29 日 | 第 13 回オールジャパン・シニアダンススポーツカップ | [BumB 東京スポーツ文化館] |
| 9 月 6 日 | ダンススポーツグランプリ in 仙台(S) | [青葉体育館] |
| 9 月 23 日 | ダンススポーツグランプリ in 北海道(L) | [北海きたえーる] |

10 月 21 日 第 26 回都道府県対抗全国ダンススポーツ大会 [福井市体育館]

11 月 18 日 JDSF PD Japan Dance Trophy [福岡:宗像ユリックス]

11 月 25 日 三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権大会 [駒沢体育館]

平成 31 年

3 月 10 日 東京オープンダンススポーツ選手権 [駒沢体育館]